

11月23日(日)

令和八年度 神道学専攻科入学試験問題

国語総合

―注意事項―

- 1 問題は4ページ、解答用紙は1枚である。
- 2 解答はすべて別紙解答用紙に縦書きで記入すること。
- 3 試験時間は60分である。

Z18A

省略の箇所は、著作権の都合上省略しています。

次の文章を読んで、後の問一〜五に答えなさい。

省 略

省 略

(蘭田稔の文章に基づく)

問一 著者は、秩父夜祭のありようについて、過去と現在とを比較してどのように変化したと述べているか。一五〇字以上二〇〇字以内で要約し、解答欄に記入しなさい。

問二 傍線部(一)について、著者が考える「質の高い祭」として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、解答欄に冒頭の記号を記入しなさい。

ア 多くの人々で賑わい、祭に郷愁を抱く人々が集まって心から楽しみ癒やされることが出来る祭

イ その土地に生活する者だけが実感できる独自の時間の流れと空間のとらえ方を再現できる祭

ウ 観光資源としての活用を一切拒否して、地元住民だけに参加を許す神秘的な祭

エ 観光資源として高い経済効果があり、それらの利益が確実に地元の人々へと還元される祭

問三 傍線部(二)「家郷社会のコスミックな秩序を再現する」とあるが、日本の村において、そのような再現がなされた結果、どのようなことが起こると著者は述べているか。文章中から、該当する箇所(四〇字以上五〇字以内)を抜き出して、解答欄に記入しなさい。

問四 傍線部(三)「観光のためにこそ観光を捨てる祭であって欲しい」とはどういうことか。著者の意図を説明する文章として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、解答欄に冒頭の記号を記入しなさい。

ア 秩父夜祭は、観光客誘致に注力するあまり肥大化し、地域のコミュニティとの繋がりを失ってしまった。近年、都市部におけるコミュニティ再編の動きの中で次々と新しい祭が生まれていることを参考に、旧来の祭のあり方を捨て去り、時代に即した魅力を持つ、ユニークな祭を創出するべきだ。

イ 秩父夜祭は、かつては「絹の大手」が立つ経済効果の高い祭であった。しかし、近年は観光客誘致のため祭礼を短縮し、大道商人の出店まで取りやめたため、本来の「祭Ⅱ市」のあり方が失われている。大道商人の出店を復活させ、地元経済の活性化を図るべきだ。それが結果的に観光事業の活性化にも繋がるはずだ。

ウ 秩父夜祭は、地元住民が納得できるような祭のあり方から離れてしまった。祭は自然や風土と一体となったコミュニティの独自の秩序を再現するところに最大の意義がある。経済効率や観光客誘致に偏ることなく、本来の祭の意義に立ち返るべきだ。それによって祭は生命力を取り戻し、それが、結果として観光資源としての魅力の向上にも繋がるはずだ。

エ 秩父夜祭は観光資源として大きな魅力を有するが、経済効果を追求するあまり大規模化し、祭を安易に消費する風潮に陥ってしまった。祭の本来の魅力を保持し続けるためには、むしろ、郷土色豊かな小祭礼や、〈市〉や〈芸能〉を通じて観光客と地元住民との交流をはかるなど、あえて規模を抑制した、持続可能な取り組みを模索すべきだ。

問五 この文章における著者の主張についてどのように考えるか。自らの意見を、五五〇字以上六〇〇字以内で解答欄に記述しなさい。

